



自民党

自民党員を募集しています！詳しくはスタッフまで！

自由民主党衆議院議員【埼玉3区（草加市・越谷市）】

国を挙げて子供たちの命を守る！

トピック：友党からこんにちは

矢倉かつお参議院議員・自民党推薦決定

きかわだステーション



第68号

きかわだひとしFBはこちら！友達募集中！↑↑↑

衆議院議員黄川田仁志事務所発行 電話 048-933-0591

国を挙げて子供たちの命を守る！～児童虐待防止法等関係法改正等

自由民主党衆議院議員の黄川田仁志です。いつも『きかわだステーション』をお読みいただき、ありがとうございます。統一地方選挙のため、しばらく発行をお休みしておりましたが、今月から再開いたします。引き続き、ご愛顧いただけますと幸いです。

さて、痛ましい虐待によって、子供たちの命が奪われる事件が後を絶たないことを受け、自由民主党では、一刻も早い児童虐待根絶をめざして、取り組んでいるところです。

私の選挙区である草加市、越谷市も例外ではありません。昨年8月、草加市では、乳児虐待事件が発生し、全国ニュースで報道されました。埼玉県内には、県が所管する児童相談所が6つあり、越谷市にも越谷児童相談所があります。越谷児童相談所は草加市に支所を置いていましたが、最近、草加市内での虐待の通報が増えていることから、埼玉県は、草加の支所を児童相談所本所に格上げしました。大変心強い取り組みである一方、現場の大変さが痛感されます。

私たち自由民主党は、このような地域における児童虐待防止に対する取り組みを応援し、子供たちの声なき声に対応するため、児童虐待防止法、児童福祉法、民法の改正の必要を訴えています。

例えば、児童相談所の体制を強化するため、所内の仕事を、子供から親を引き離し一時的に保護を行う「介入」の担当と、虐待を行った保護者の相談に乗り指導する等の「保護者支援」の担当に分け、特に、子供の安全確保を躊躇なく実施するために「介入」機能を強化すること、さらには、弁護士、医師、保健師と言った専門職による児童相談所への関与を強化すること等を提案しています。

また、現状の児童相談所では、児童福祉司一人当たりの担当ケース数が膨大であり、手が回りきらないとの現場の声もあることから、中核市や特別区で、児童相談所を独自に新設できるよう、施設整備や人材確保・育成の支援を集中的に行うことも提案しています。

さらには、虐待を受けた子供たちが、家庭的な環境の下で安心して生活できるようにするため、里親制度への支援拡充を行う他、特別養子縁組の上限年齢を6歳未満から15歳未満への引き上げること、保護者や児童福祉施設長らによる体罰を禁止し、親に認められた民法上の懲戒権のあり方の検討を進めることを提案しています。

虐待を受けている子供たちは、自分から声をあげることはできません。子供たちを助けることは、私たち大人一人ひとりの責任です。自由民主党は、あらゆる手段を講じて、子供たちを守って参りたいと考えています。今国会では、野党からも児童虐待防止に関する法案が提出されています。お互いに中身をよく吟味し、政局ではなく、子供たちによりよい形で関連法改正を進められるよう、努めて参る所存です。

平成31年6月吉日 黄川田仁志



左が矢倉かつお参議院議員。国会での1枚。

自由民主党は、夏に行われる参議院議員選挙・埼玉県選挙区において、公明党の矢倉かつお参議院議員を正式に推薦することを決定しました。

公明党は、皆様ご承知のとおり、政権を担う友党であり、自由民主党にとって、大切なパートナーです。参議院議員選挙に限らず、わが党と公明党は選挙協力を積極的に行っており、私の衆議院議員選挙では、公明党から推薦をいただいて戦ってきた経緯もございます。

わが国の発展、安定した政権運営のためには、車の両輪である公明党の議員の皆様にも、しっかりご活躍いただかなければなりません。

参議院議員選挙・埼玉県選挙区では、自民党公認の古川俊治参議院議員、そして、自民党推薦の矢倉かつお参議院議員お二人に対し、多くのご指導をいただけますと幸いです。

矢倉かつお参議院議員プロフィール

参議院議員1期（埼玉選挙区選出）・元農林水産政務官
公明党埼玉県本部副代表も務める。
昭和50年1月生まれの44歳。東京大学法学部卒業。
カルフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）法学修士課程
修了。日本・米国ニューヨーク州弁護士。
元経済産業省参事官補佐。埼玉県さいたま市在住。

「現場を走り、世界に挑む。」矢倉かつお参議院議員の実績

- 予算・税制で中小企業応援
中小・小規模事業者の償却資産に係る固定資産税大幅軽減
- 国際舞台で交渉力を発揮
WTO（世界貿易機関）閣僚会合に日本代表として出席。
- 1期5年で3本の議員立法
ストーカー規制法、ヘイトスピーチ解消推進法、再犯防止と社会復帰をめざす法律を成立



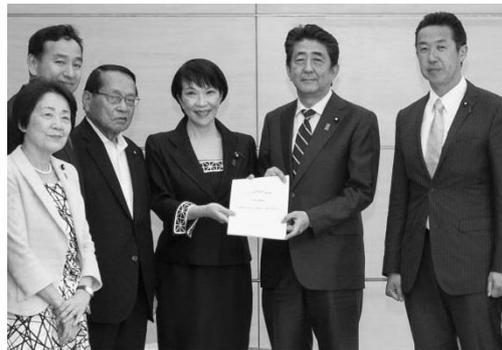
安倍総裁と矢倉議員のポスターも貼られています

トピック:永田町だより

自民党サイバーセキュリティ対策本部『第2次提言』を安倍総理・菅官房長官に提出

5月10日（金）、自民党サイバーセキュリティ対策本部の役員として、安倍総理と菅官房長官に対し、『第2次提言』を提出しました。

今回の提言は、日進月歩の技術革新に後れを取らない「法整備」と、サイバーセキュリティ庁の設置等「強靱な体制の構築」を柱にしています。わが国は日々、海外からのサイバー攻撃に曝されています。しかし、それに対応する人員も予算も、他の先進国と比較すると少ないのが現状です。東京五輪・パラリンピックを来年に控えていることから、更に力を入れて、サイバーセキュリティ対策を強化しなければいけません。引き続き、重点的に活動して参ります。



同本部役員として高市本部長と共に提出

きかわだひとしとは？…自民党衆議院議員3期目。東京理科大卒、米州アラバマ大学大学院修了。昭和45年生。趣味は剣道、空手、野球、落語。妻、長女と越谷市内に在住。第3次安倍改造内閣で外務大臣政務官（北米・中南米担当）。衆議院では、外務委員、法務委員、憲法審査会委員。党では、国際局長、外交部会長代理、サイバーセキュリティ対策本部幹事等を務める。海洋政策が専門。